

世界旅打ち気分

●第22回・サンモリツツ

須田鷹雄



この珍しい競技が一度は見たい
スキージョギング



1コーナーへ向かうハーネスレース出走馬たち



防寒具で分からぬが、この優勝騎手は
ミルコ・デムーロ

写真のカラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>
#グリーンファーム会報#2020年2月号
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

ス。普通のハーネスは馬車を引くが氷の上なので橇が使われる。そして3つめの競技がスキージョギングと言い、スキーを履いた騎手が馬の後方に立つてロングレーインで引かれしていく競技である。

開催要項を見るとスキージョギングは予選か能力試験のようもあるようなので、そこで人馬の能力を確認してから本番が行われるのだろう。意外に多頭数で行われるし、前のほうで落馬というか落スキーでもあつたら後続の馬とスキーに繋かれまくるので、安全に配慮しているのだろう。それにしてもこんな競技にそれなりの頭数が集まるという」とはスイスやドイツあたりでは普通にスキージョギング愛好家がいるのだろうか? いるにしても、どうどのようない練習をしているのだろうか? いろいろと謎の多い競技である。

スキージョギングの説明が長くなつたが、第4の競技はボートレース。2013年当時はなく、今年の番組を見て存在に気づいた。ボートレースのある日は6レース編成、無い日は6レース編成なので、既存競技の出走数が減ったために加えられたような氣もある。

だけ、2月の日曜日に行われる。一時期は「ナイトターフ」という夜間競馬も試されたようだが、また無くなってしまったようだ。

競馬場は常設コースではなく、氷の張った湖の上。サンモリツ駅の南側には湖が広がっているのが、凍結した湖に雪を敷いてラチを作り、そのうえで競馬をする。

競馬の前に、まずはこのサンモリツ駅に到着するまでの話をしちょう。

日本からの飛行機で行くとチューリッヒ空港に着くことになると

Jの馬が皆さん手元に届くときにはすでに今年の開催が終わっているかもしないが、季節ものと違うと思う。というか、この企画をやつていながら昨年・昨年のこの時期にここを取り上げていなかたのは我ながら不覚だった。

その競馬場は、スイスのサンモリツ競馬場である。競馬場の名前だけを聞いてもピンとこないかもしないが、「氷上競馬」といえば皆さん一度くらいは聞いたことがあるだろ?

サンモリツの競馬は年に3日だけ、2月の日曜日に行われる。一時期は「ナイトターフ」という夜間競馬も試されたようだが、また無くなってしまったようだ。

競馬場は常設コースではなく、氷の張った湖の上。サンモリツ駅の南側には湖が広がっているのが、凍結した湖に雪を敷いてラチを作り、そのうえで競馬をする。

競馬の前に、まずはこのサンモリツ駅に到着するまでの話をしちょう。

サンモリツに着くとおとづれ駅のホームに「箱根登山鉄道」という漢字が踊っていると思うが、これは両鉄道が姉妹鉄道の関係を結んでいるため。スイスまで来て路線の登山電車で下つていくと、イタリアとの国境に近いといひ出る。

サンモリツに着くとおとづれ駅は、サンモリツに着くとおとづれ駅のホームに「箱根登山鉄道」という漢字が踊っていると思うが、これは両鉄道が姉妹鉄道の関係を結んでいるため。スイスまで来て路線の登山電車で下つていくと、イタリアとの国境に近いといひ出る。

思うが、そこからチューリッヒ中央駅に出で、さぶに鉄道でクールという駅まで行く。下車するとホームの反対側に登山鉄道が止まってるので、それに乗り換えて延々と山を登つていぐと終点のサンモリツ駅に着く。この駅から別な路線の登山電車で下つていくと、日本まで紙のチケットが送られていくようなシステムになつていてもおかしくない。

前述のレーシングプログラムとならんで日本人が好きそうなのがギフトショットとそじで買うグッズだが、グッズは地獄のような高価。定席といつてもやべら席だが、日本からネットで購入する」ともでてきたが、いまはバーコードを印刷していくよ。

そもそもサンモリツはヨーロッパの金持ちが訪れる冬のリゾート地なので、どんな値付けをしても「箱根」の文字を見る気分はなんとも不思議なものだ。

サンモリツは駅からも歩いてすぐいける。サンモリツのホテルは正面かなり高いので、麓のクールに泊まるで日帰り往復するという手もある。「箱根」の文字を見る気分はなんとも不思議なものだ。

そもそもサンモリツはヨーロッパの金持ちが訪れる冬のリゾート地なので、どんな値付けをしても「箱根」の文字を見る気分はなんとも不思議なものだ。

そもそもサンモリツはヨーロッパの金持ちが訪れる冬のリゾート地なので、どんな値付けをしても「箱根」の文字を見る気分はなんとも不思議なものだ。

サンモリツには確かに自由席という選択肢すといふ手もある。

競馬場は駅からも歩いてすぐいける。サンモリツのホテルは正面かなり高いので、麓のクールに泊まるで日帰り往復するという手もある。プロограмには入場時に買えるが、日本と違つてもちうん有料。このプログラムには全レース終了後に行われる抽選会の抽選番号が付いているので、お土産用に何部か買つてあわよくば抽選会での当選を目指すといふ手もある。

競馬場は駅からも歩いてすぐいける。サンモリツのホテルは正面かなり高いので、麓のクールに泊まるで日帰り往復するという手もある。プロограмには入場時に買えるが、日本と違つてもちうん有料。このプログラムには全レース終了後に行われる抽選会の抽選番号が付いているので、お土産用に何部か買つてあわよくば抽選会での当選を目指すといふ手もある。

競馬場には確かに自由席という選択肢すといふ手もある。

競馬場には確かに自由席といふ手もある。

ともあれスキージョギングやボート

ともあれスキージョギングやボート

互いびっくりした。

肝心の馬券についてまた書いてい

る。そもそも氷の上だし「普通の

競馬はそれなりの馬が出てくる

だけの余興的なレースなのではと

思う方もいるかもしれない。実際

にはそんなことはなく、しっかりと

した競馬が行われている。

以前はしっかりとどうかメイン

のサンモリツ大賞は52格だった

と思うが、気がつくとグループレ

ースではなくなつてているようだ。それ

でも2018年のパターンブックを見ると賞金は1,240万円(総賞金)があるので、ヨーロッパのレースと

してはなかなかのものだろう。

私が見に行った2013年にはまだ日本のフル免許を取得する

前のミル・デムーロ騎手も参戦し

ており、たまたま見ていたレースで勝利も収めていた。欧洲の馬主がリゾート地に行きがてら所持馬を遊びに誘いがてら起用し……といふようなバターンもあるようないい。

この開催に使い、仲の良い騎手を遊ぶかもしない。ちなみにミル

はレースとレースの合間に(平地競走は数が限られるので)に普通に

場内を歩いていて、出くわしてお

うようなバターンもあるようないい。

運が良いと知っている騎手を見

うよい気もしない。ちなみにミル

はレースとレースの合間に(平地競走は数が限られるので)に普通に